



2024年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年1月11日

上場会社名 株式会社ほぼ日 上場取引所 東
コード番号 3560 URL <https://www.hobonichi.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長CEO兼COO（氏名） 糸井重里
問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO兼管理部長（氏名） 鈴木基男（TEL） 03-5422-3804
四半期報告書提出予定日 2024年1月11日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年8月期第1四半期の業績（2023年9月1日～2023年11月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第1四半期	2,922	9.6	730	6.5	732	6.3	506	6.3
2023年8月期第1四半期	2,665	19.6	685	55.4	689	53.8	476	54.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第1四半期	218.27	218.19
2023年8月期第1四半期	205.35	205.25

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第1四半期	5,764	4,606	79.9
2023年8月期	5,847	4,200	71.8

（参考）自己資本 2024年8月期第1四半期 4,606百万円 2023年8月期 4,200百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2024年8月期	—	—	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年8月期の業績予想（2023年9月1日～2024年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400	8.5	660	11.9	660	12.9	450	9.2	193.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年8月期1Q	2,320,600株	2023年8月期	2,320,400株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年8月期1Q	401株	2023年8月期	353株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年8月期1Q	2,320,231株	2023年8月期1Q	2,319,690株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、多分に不確実要素を含んでいます。実際の業績は、業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

2024年1月11日(木)17時以降、当社ウェブサイト<https://www.hobonichi.co.jp/>に掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における当社の経営成績は、次の表のとおりです。

	前第1四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)	対前年同期比 (増減額)	対前年同期比 (増減率)
売上高	2,665,471千円	2,922,512千円	257,040千円	9.6%
営業利益	685,742千円	730,335千円	44,592千円	6.5%
経常利益	689,137千円	732,462千円	43,324千円	6.3%
四半期純利益	476,359千円	506,428千円	30,069千円	6.3%

当社は当第1四半期累計期間において、主力商品の『ほぼ日手帳2024』を例年通り2023年9月1日より販売開始しました。『ほぼ日手帳』はこれまでもブランド、IPやアーティストとのコラボレーションを実施してきました。当第1四半期累計期間においては前年大きな反響があった「ONE PIECE magazine」と引き続きコラボレーションを実施し、1日1ページの手帳本体やカバー、オリジナル文具を発売しました。今後も取組み先と当社の双方が新たなお客様に出会えるような多様なコラボレーションを目指していきます。また、国内ではより多くのお客様の手にとってもらえるように、自社ECサイト「ほぼ日ストア」以外の外部ECサイトでの販売を強化しています。

欧米でのほぼ日手帳への関心も引き続き高く、ほぼ日手帳関連のコンテンツやSNSの英語対応の強化、海外での展示イベントの実施により認知の拡大を進めています。2024年版では主に海外に向けた新商品として、『手帳本体オリジナル英語版』や張り手帳タイプの『ほぼ日手帳HON英語版』を発売し、手帳本体のラインナップを拡充しました。また「ほぼ日ストア」に言語、通貨、決済手段の対応範囲を広げるDtoC越境EC向けサービスを導入し、お客様が日常で利用している決済手段で購入できること、関税・税金込みの価格で事前決済が可能になることで、より安心して購入していただけるようになりました。これらの結果、海外売上高の前年同期比は直販売上で27.9%増、卸売上で25.1%増と北中米、ヨーロッパを中心に大きく伸長し、『ほぼ日手帳』における海外売上高の構成比率は53.5%(前年同期比3.9pt増)と上昇しました。今後も世界各国での販路の拡大や購入時の利便性向上を推進し、海外売上高の伸長を図っていきます。

結果として『ほぼ日手帳』全体の売上高は国内外ともに手帳本体・カバーが好調に推移し、前年同期比18.4%増(国内9.2%増、海外27.6%増)となりました。

手帳以外の商品については、前年同期比3.0%減となりました。ファッション関連商品が好調に推移した一方で、AR地球儀「ほぼ日のアースボール」などの生活雑貨の売上が減少しました。

これらの結果、売上高は2,922,512千円(前年同期比9.6%増)となりました。

売上原価については、『ほぼ日手帳』の売上構成比率が上昇した結果、売上原価率37.0%(前年同期比0.5pt減)となりました。販売費及び一般管理費については、海外直営販路での売上増加により販売費用が増加しました。

その結果、当第1四半期累計期間の営業利益は730,335千円(前年同期比6.5%増)、経常利益は732,462千円(前年同期比6.3%増)、四半期純利益は506,428千円(前年同期比6.3%増)となりました。

その他の事業活動としては、動画サービス「ほぼ日の学校」(アプリ及びWEBで提供)では、「人に会おう、話を聞こう。」をコンセプトに、新しい学びの「場」をつくることを目指し、有名無名問わず様々なジャンルの講師による授業を配信しています。最近では、動画配信に加えてリアルイベントの開催も活性化しており、漫画『BLUE GIANT』の作者との鼎談付きの映画上映会や、村上春樹さん原作の舞台『ねじまき鳥クロニクル』とコラボレーションしたミニワークショップ付きのトークショー、タレントの伊集院光さんと糸井重里の対談などのイベントを開催しました。また、全日本空輸株式会社(以下ANA)とは業務提携を続け、ANAのお客様への動画コンテンツも提供しています。ウェブサイト「ほぼ日刊イトイ新聞」では俳優の松重豊さんとフードスタイリスト飯島奈美さんの「飯島食堂へようこそ。」やマンガ編集者の林士平さんとの対談「マンガ編集者、林士平の即答。」が多くのの方に読まれました。また、ほぼ日のさまざまな商品を生配信で紹介する「ほぼ日LIVEコマアース」や、LINEアカウントメディアなどの外部媒体でアーカイブの人気記事などの配信をしています。活字以外のメディアでもたくさんの方に楽しんでもらえるよう、オーディオブック「聞く、ほぼ日。」やYouTubeチャンネル「ほぼべりTUBE」など、音声や動画としてのコンテンツ提供にも力を入れています。

渋谷PARCO「ほぼ日曜日」では、ファッションブランド「ANREALAGE」と体験型の展覧会「6 DOORS」を9月から10月初旬まで開催したほか、前年も好評だった多品種のりんご狩りを室内で楽しめるイベント「りんご狩りかもしれない展」を11月に開催しました。「TOBICHI」ではフォトグラファーの矢嶋修さんの写真展などを開催しました。

このように、当社は運営する「場」において、生活のたのしみとなるような「いい時間」を過ごしていただけるよう、コンテンツを作り、編集し届けています。こうしたすべての活動の結果が当社の業績につながっています。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しています。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年11月30日)	前事業年度末比増減
資産合計	5,847,553千円	5,764,891千円	△82,662千円
負債合計	1,647,253千円	1,157,939千円	△489,314千円
純資産合計	4,200,299千円	4,606,952千円	406,652千円

(資産の部)

流動資産は、4,307,657千円と前事業年度末に比べて52,666千円の減少となりました。これは主に商品の減少515,375千円、現金及び預金の増加449,403千円、売掛金の増加11,576千円、その他に含まれる前払費用の増加17,324千円によるものです。

有形固定資産は、285,404千円と前事業年度末に比べて5,924千円の減少となりました。これは主に減価償却による減少13,031千円、車両運搬具の取得による増加3,608千円、工具、器具及び備品の取得による増加3,498千円によるものです。

無形固定資産は、413,401千円と前事業年度末に比べて4,339千円の減少となりました。これは主に「ほぼ日の学校」のソフトウェア取得による増加38,951千円、その他に含まれるソフトウェア仮勘定の減少21,827千円、減価償却による減少22,664千円によるものです。

投資その他の資産は、758,427千円と前事業年度末に比べて19,730千円の減少となりました。これは主に投資有価証券の時価評価額の増加6,730千円、その他に含まれる繰延税金資産の減少32,117千円によるものです。

(負債の部)

流動負債は、930,349千円と前事業年度末に比べて500,520千円の減少となりました。これは主に買掛金の減少751,128千円、賞与引当金の減少94,659千円、未払金の増加174,276千円によるものです。

固定負債は、227,589千円と前事業年度末に比べて11,205千円の増加となりました。これは主に退職給付引当金の増加9,683千円によるものです。

(純資産の部)

純資産の部は、4,606,952千円と前事業年度末に比べて406,652千円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加402,026千円その他有価証券評価差額金の増加4,453千円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

	2024年8月期 予想	2023年8月期 実績	対前期増減率
売上高	7,400百万円	6,818百万円	8.5%
営業利益	660百万円	589百万円	11.9%
経常利益	660百万円	584百万円	12.9%
当期純利益	450百万円	411百万円	9.2%

2024年8月期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、2023年10月12日に発表いたしました通期の業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,373,312	1,822,716
売掛金	845,986	857,562
商品	1,958,322	1,442,946
仕掛品	46,007	41,175
貯蔵品	7,802	-
その他	129,339	143,899
貸倒引当金	△446	△643
流動資産合計	4,360,324	4,307,657
固定資産		
有形固定資産		
建物	337,837	337,837
工具、器具及び備品	175,355	178,854
その他	9,609	10,561
減価償却累計額	△231,473	△241,848
有形固定資産合計	291,329	285,404
無形固定資産		
ソフトウェア	270,571	287,079
その他	147,169	126,321
無形固定資産合計	417,741	413,401
投資その他の資産		
投資有価証券	320,708	327,438
その他	457,450	430,989
投資その他の資産合計	778,158	758,427
固定資産合計	1,487,229	1,457,233
資産合計	5,847,553	5,764,891
負債の部		
流動負債		
買掛金	945,481	194,353
未払金	151,656	325,933
未払法人税等	172,796	208,860
賞与引当金	122,982	28,322
その他	37,952	172,879
流動負債合計	1,430,869	930,349
固定負債		
退職給付引当金	156,880	166,563
資産除去債務	3,975	3,975
その他	55,528	57,050
固定負債合計	216,383	227,589
負債合計	1,647,253	1,157,939
純資産の部		
株主資本		
資本金	350,263	350,432
資本剰余金	340,263	340,432
利益剰余金	3,402,954	3,804,981
自己株式	△1,708	△1,873
株主資本合計	4,091,773	4,493,971
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	108,526	112,980
評価・換算差額等合計	108,526	112,980
純資産合計	4,200,299	4,606,952
負債純資産合計	5,847,553	5,764,891

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自2022年9月1日 至2022年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自2023年9月1日 至2023年11月30日)
売上高	2,665,471	2,922,512
売上原価	999,031	1,081,889
売上総利益	1,666,439	1,840,622
販売費及び一般管理費	980,697	1,110,287
営業利益	685,742	730,335
営業外収益		
受取補償金	566	463
為替差益	2,082	1,581
その他	747	671
営業外収益合計	3,396	2,717
営業外費用		
その他	1	590
営業外費用合計	1	590
経常利益	689,137	732,462
税引前四半期純利益	689,137	732,462
法人税、住民税及び事業税	204,080	195,882
法人税等調整額	8,697	30,150
法人税等合計	212,778	226,033
四半期純利益	476,359	506,428

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2022年11月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	104,386	45	2022年8月31日	2022年11月28日

2. 基準日が第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が第1四半期会計期間の末日後となるもの該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2023年11月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	104,402	45	2023年8月31日	2023年11月27日

2. 基準日が第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が第1四半期会計期間の末日後となるもの該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。